

私たちの町「日頃市」 ～ふるさととの復興の力になろう～

2015年8月



大船渡市立日頃市中学校

学校の状況

- ▶ 岩手県の沿岸部大船渡市
- ▶ 全校生徒32名
- ▶ 職員13名



本校は大船渡市でも
山間部に位置するので
津波による被害はなし

今年度の活動

- ▶ 4月 オリエンテーション（チャレンジプラン年間計画の提示）
- ▶ 5月 防災訓練（地震対応）
- ▶ 6月 通学路清掃、タオルハンガーの製作⇒熊本へ
- ▶ 7月 1年地域巡り（椿マップ作り）
チャリティリレーマラソン2,016東京
- ▶ 8月 五葉山ボランティア登山
防災キャンプ（1泊2日疑似避難所体験）
- ▶ 10月 全校ボランティア（椿の里作り）
文化祭で発表（防災マップ・地域写真の展示）
タオルハンガーの製作⇒岩泉へ
- ▶ 11月 防災訓練（火災対応）
- ▶ 12月 復興講話会開催
岩泉町の小学校へタオルハンガーを250個届ける

※自分たちの活動の様子をブログで発信

総合的な学習の時間 (防災・復興教育と学年テーマ学習)

1 ねらい

自分の命は自分が守る
日頃市町の歴史と文化を誇りにする
地域の復興を支え、地域に生きる
人の役に立つ大人になる

2 テーマ

私たちの町「日頃市」
～ふるさとの復興の力になろう～

教育活動の中に防災の エッセンスを入れる

復興・防災教育（全校23）

- | | |
|-----------------------|-----|
| 1 オリエンテーション | (1) |
| 2 復興講話 | (2) |
| 3 安全マップ作り(地域歩き、お宝巡り等) | (6) |
| 4 地域貢献(花壇・椿・柿など) | (6) |
| 5 防災教育チャレンジプラン | (8) |

キャリア教育

- | | |
|-------------|-------|
| 1 学年 | |
| 身近な職業調べ | (4) |
| 2 学年 | |
| 修学旅行 | (6) |
| キャリアチャレンジデイ | (6) |
| 職場体験 | (1 2) |
| 3 学年 | |
| 修学旅行 | (1 2) |
| 進路指導 | (1 2) |

活動の柱 1

- ▶ **ふるさとの実情を知り**、自分たちの力で復興のために何ができるか考えるきっかけとする。



大船渡市「世界の椿館」の見学

- 防災マップづくり
- 復興講話
- 「椿の里」プロジェクト



活動の柱 2

- ▶ 非常災害時に中学生の立場でしなければならないことやできることを学び、**災害に対する備え**を行う。



- ボランティア活動
- 五葉山登山
- 防災学習
- 防災キャンプ

親子で登った五葉山



活動の柱 3

- ▶ ふるさとのおよさの発信を行い、多くの人に元気を与える。

● タオルハンガー



大船渡市立日頃市中学校



1995年に、神戸で大きな地震がありました。
妹はるか、笑顔がひまわりのような女の子でした。

PHP研究所 / 定価：本体1,300円（税別）

● 日頃市中ブログ

熊本県からタオルハンガーのお礼届く

熊本県立球磨（くま）支援学校から、タオルハンガーのお礼に「きじ馬」が届きました。

4月の熊本地震で大きな被害があり、東日本大震災の被災地としては、心を痛めておりました。日頃市中学校では、復興の象徴である「ひまわりの種」を熊本に届けよう、「笑顔と花の種」プロジェクトを立ち上げ、60箇所作製して送ったのです。（このタオルハンガーを作製することも「心のケア」になるといわれています。）

「きじ馬」は、人吉球磨地方の伝統玩具で子どもが大きく育つように願いが込められているそうです。職員室前に飾りましたので、学校にお見えの時にでもご覧下さい。とっても可愛いですよ。熊本県の皆様の1日も早い復興を願っております。（村上）



熊本県益城町立木山中学校から タオルハンガーのお礼

ご支援
ありがとうございます。
皆さんのご支援のおかげで
私達は、今生活がはず、
学校にも行く事ができています。
本当にありがとうございます。
山本 侑奈

ご支援ありがとうございます。
みなさんから
いろんないしや
をもらって本当に
うれしかったです。
陳 香月

ご支援ありがとうござい
ました。
中学校での生活が始
まり慣れないこともあ
りますが頑張っています。
本当にありがとうございます。
中村 都菜

ご支援
ありがとうございます。
今熊本はたくさんのご支援
のもと復興しています。
感謝しています!!
本当にありがとうございます。
これからも頑張ります!
下山 芽依

ご支援ありがとうございます。
今ぼくたちは少しずつものの
生活に戻っています。
みなさんにしてもらったこと
は絶対に忘れません。
本当にありがとうございます。
國武 謙輝

ご支援ありがとうございます。
皆さんの支援のおかげ
で少しおつたけれど元の
益城町になってきていま
す。ありがとうございます。
中村 優士

ご支援ありがとうございます。
みなさんのおかげで
熊本は復興にむ
けてがんばっています。
本当にありがとうございます。
酒見 幸作

ご支援ありがとう
ございました。
みなさんのおかげで
私たちは色々な事を
助けられました。
これからも熊本が
ふっこうするように
がんばります。
野満 ももこ

ご支援ありがとうございま
した。
ぼくは今部活で食料道
をがんばっています。
系長はきついで試合
で月券をたときはうれし
いです。
山辺 浩生

大船渡市立日頃市中学校の
皆様へ

益城町立木山中学校 1年2組



弁当給食



エクト

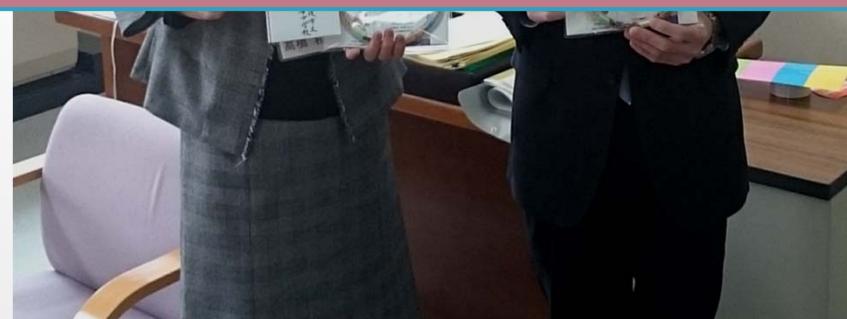


生徒会主催の岩泉への支援活動 「実はやがて身になる」プロジェクト

- ▶ 集めた椿の実を支援金に
- ▶ タオルハンガーを届ける



大船渡市の産業への貢献と、支援活動を同時に行う



約10kg = 5000円になりました

岩泉小と小本小へ250個

防災チャレンジキャンプ

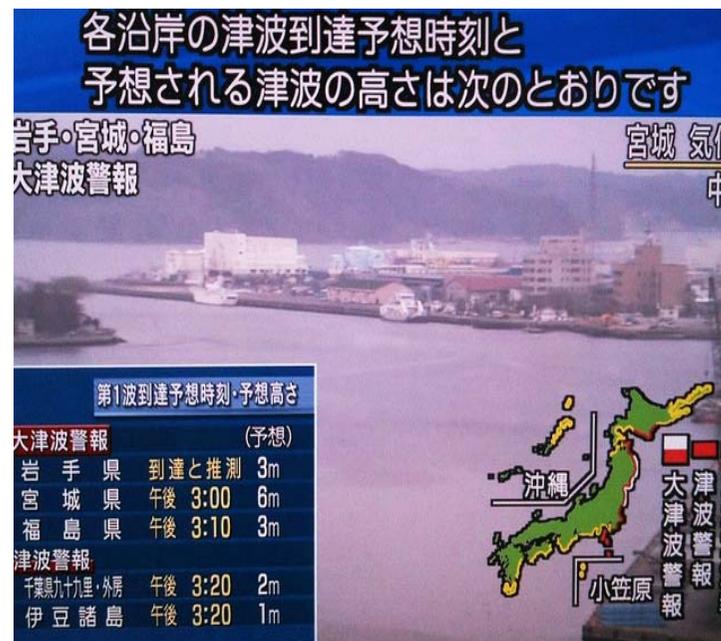
7月22日～23日



想定

- ▶ 大船渡市に震度7の地震発生
- ▶ 津波警報が発令
- ▶ 校舎・施設には被害なし
- ▶ 全校生徒は体育館に全員無事避難

津波警報が解除になるまで
学校から帰ることができない！



目的

- ▶ 非常時に中学生として自分たちが**24時間安全に**過ごすにはどうすればよいか体験する
 - 水は出る(井戸水→自家水道)
 - 食料は
 - 備蓄食料、非常食の準備がある
 - 体育館での避難生活が始まる
 - 火災の発生
 - けが人の手当
- ▶ 非常時に備えて**今からやっておかなければならないこと**を考える
 - 危険箇所の把握(防災マップの作成)
 - 防災訓練



プロジェクト チームの役割と責任

<安全チーム>

- ・防災への備え
- ・けが人への対策



1年生

<食チーム>

- ・食事の用意
- ・食材・調理方法



2年生

<住チーム>

- ・体育館での生活
- ・住居、灯り



3年生

安全チーム(1年)の活動



チームに別れて学区探査



救命救急訓練
(応急担架)



調べてきた危険箇所や避難場所を防災マップに記入



水消火器による消火訓練

食チーム(2年生)の活動

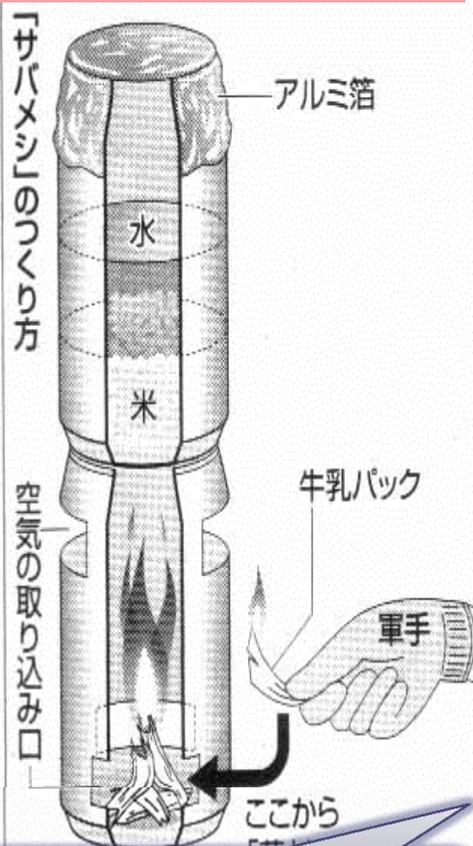
薪で湯沸かし
(レトルトカレー)



薪は裏山で集め、
たき付けには
給食の牛乳パック

大船渡市立日頃市中学校

サバメシ



出典
国際サバメシ協会

朝食
クラッカーと水



震災時の支援物資

住チーム(3年)の活動

空き缶
ランタン



段ボール
の仕切り



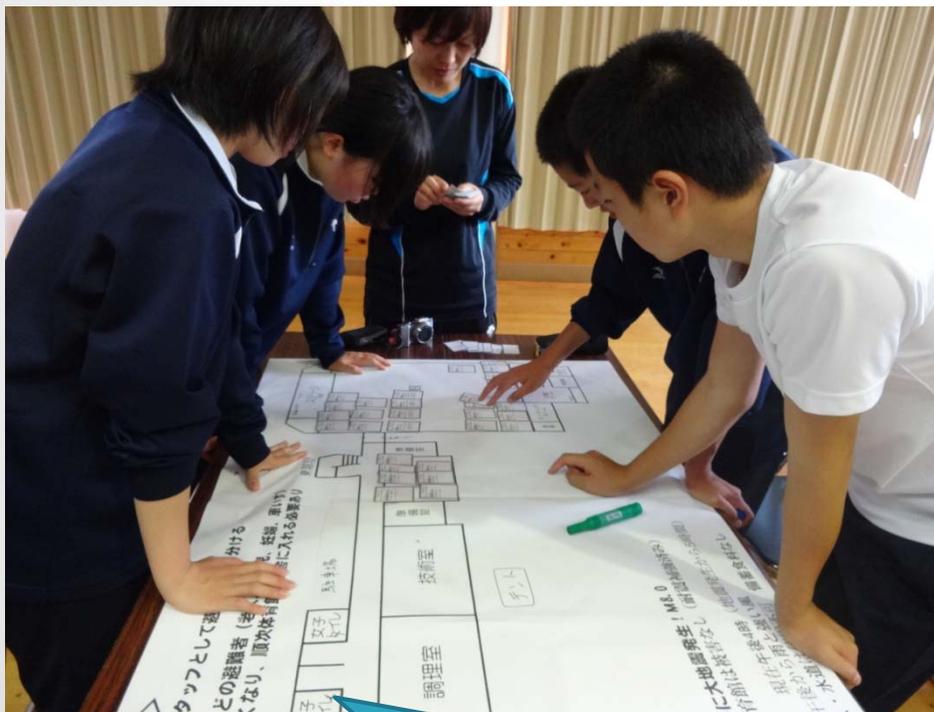
ツナ缶
ランタン



段ボール
シェルター



高知県南海中学校とのテレビ会議 (避難所運営ゲームHUG体験)



実際の校舎図を使って
避難者を配置

インターネット回線で
南海中学校と繋ぐ



活動が新聞に取り上げられる

発行 幸友 第17652号 平成28年(2016年)7月24日(日曜日) 日刊(月曜日休刊)

身をもって備え学ぶ



防災キャンプ開く

日頃市中 高知・南海中と交流も

大船渡

災害に備えて生徒が備わらなければならない防災キャンプが、23日(土)日、大船渡市立日頃市中学校(村上市)で開かれた。体育館で避難生活を送るための避難所生活や防災技術など、災害に対する意識を高める。内閣府の支援で実施されている「防災教育チャレンジ」の一環として、日頃市はインターネットを通じて高知県の南海中学校との交流も行った。

防災キャンプは、生徒が学校に避難した際に体育館で生活することを通して、避難所生活や防災技術について学ぶことが目的。防災教育の場として、高知県の南海中学校との交流も行った。

防災キャンプは、生徒が学校に避難した際に体育館で生活することを通して、避難所生活や防災技術について学ぶことが目的。防災教育の場として、高知県の南海中学校との交流も行った。

傍観者ではなく担い手に
大船渡市日頃市中副校長
鎌田慎さん(52)
7月下旬、全校生徒が体育館で泊まる訓練を初めて実施し、空き缶でランプを作ったり、避難所運営を学んだりしました。学区は東日本大震災で被災せ



ず、子どもたちは避難所生活を体験していません。岩手県の学校は震災後、津波警報の解除まで帰宅させないことにしており、防災意識を高めようとして取り組みました。

地域を歩いて防災マップも作製しました。今後、住民から過去の災害を聞き取って内容を追加し、デジタル化して広く見られるようにしたいです。高齢化が進む中、生徒には傍観者ではなく、地域防災の担い手になってほしいと思います。

復興の大輪咲かせて

熊本の中学校へ
タオルハンガー贈る

日頃市中

大船渡市立日頃市中学校(村上市)校長、生徒32人の生徒らはこのほど、ヒマワリなどの花の種がつまったタオルハンガーを作成し、熊本地震被災地の中学校に贈った。生徒たちは復興への思いがこもった種が、被災中学校で大輪を咲かせることを願っていた。

タオルハンガーは、透明なプラスチックの筒に植物の種やカラフルな綿を入れてリング状にしたもの。村上校長が前任校の吉浜中学校で東日本大震災の被災地支援に訪れた教育関係者やボランティアにプレゼントしていた。

文化部を中心に、授業が始まるまでの朝の時間や昼休み、放課後に作業を行い、10日ほどで目標としていた100個を作り終えた。タオルハンガーは、一つひとつに生徒からのメッセージを添えて、メッセジを添えてラ



(3) (昭和31年2月4日第3種郵便物認可561号) 東海新報 平成28年7月16日(土)

五葉山で清掃活動

28年目のボランティア登山

日頃市中

大船渡市立日頃市中学校(村上市)校長、生徒32人はこのほど、五葉山ボランティア登山を行った。平成元年から続く恒例行事で、生徒たちは登山道などの清掃活動に汗を流した。

ボランティア登山は、子どもたちのボランティア活動や勤労体験活動を支援することで、自然愛護の精神や郷土愛、奉仕の心を育むを目的に行われ、今年で28年目。

今年には生徒30人と保護者、小生、職員合わせて76人が参加した。生徒たちは山小屋の石櫓花(しゃんく)荘で燃やすす新を背負って登山をスタート。先頭を歩く五葉山の船渡市管理人の鈴木一敏



さんが続いて登山道を歩いた。

石櫓花荘に着くと、ボランティアの仲間が歓迎した。

この日の五葉山周辺の景観保護活動や石櫓花荘の老朽化などについて熱心に耳を傾けていた。

このあと再び登山道を進み、清掃活動を行いながら頂上を目指した。

防災チャレンジキャンプの様子

(生徒が作成したビデオ映像のダイジェスト版)



日頃市中防災教育の成果

▶ 成果

- 生徒の**防災意識**を高めることができた
- 地域理解や**地域との関わり**を深めることができた
- 他校や他地域との**繋がり**を持つことができた
- 生徒に「**自分たちにもできることがある**」という自信を持たせることができた

日頃市中防災教育の課題

▶ 課題

- ・ **台風や土砂災害**など、今後予想される災害への備えをどのようにしていくか
- ・ 地域が**高齢化、少子化**する中でどのように**地域の力を維持**していくか
- ・ 活動を維持していくための**時間と資金**をどう産み出していくか



ふるさとの復興は私たちの手から

五葉山山小屋「シャクナゲ荘」



日頃市は、心を一つに
安心・安全な町作りを

